

2025 年 4 月 24 日
株式会社エクサウィザーズ
(コード番号：4259 東証グロース)

エクサウィザーズ、AI 開発環境「exaBase Studio」で 自律型を含めた AI エージェントを内製・運用可能に

～ オフィスワーカーが必要なサービスを「作り」「育てる」プラットフォームに、
AI プロダクトも含めて 2025 年夏以降にグループで AI エージェントに全対応 ～

株式会社エクサウィザーズ（東京都港区、代表取締役社長 CEO：春田 真、以下エクサウィザーズ）は、AI プラットフォームの「exaBase」が、様々な業務に対応可能な AI エージェントにグループで全面的に対応することをお知らせします。第 1 段階として 2025 年 5 月に、AI サービス開発環境の「exaBase Studio」を、自律型^{*1}を含めた AI エージェントを内製し、業務データを活用しつつ、人と対話することで育てていくプラットフォームとして利用できるようにします。日本企業の人手不足や生産性向上などの課題解決に向け、営業、人事領域を代表とするオフィスワーカーに向けて提供していきます。



2025 年は「AI エージェント元年」と位置づけられ、各国・地域において AI の導入・活用が進む一方で、日本企業では AI の実用化や導入において依然として課題を抱えているのが現状です。求められるセキュリティレベルに対応したサービス・プロダクトの少なさ、構築するための社内専門家の不足、教育・育成ができる人材の不足などの課題が挙げられます。

■AI エージェントにおけるエクサウィザーズの強み

エクサウィザーズグループは、高いセキュリティレベルを求める日本企業のオフィスワーカーが業務で使える、AI・生成 AI のソリューションやプロダクトの開発・提供をしてきました。2025 年 3 月末時点で、1800 社におよぶ企業との取引を通じて、業務効率化、生産性向上に寄与しています。法人向け ChatGPT「exaBase 生成 AI」および DX 人材発見・育成の「exaBase DX アセスメント&ラーニング」は国内市場シェア 1 位^{*2}を獲得するなど、多くの企業に活用いただける AI プロダクトサービスとして発展してきました。

年間 400 件以上の AI・DX コンサルティング案件で培ったノウハウを活かすことで、実業務で真に活用する AI プロダクトを開発しています。特に営業、人事部門においては人手不足による業務効率化が急務となっており、対象の AI プロダクトの開発に注力してきました。

また、生成 AI による社内データの利活用を重視しており、exaBase Studio や exaBase 生成 AI では、社内データを参照しながら AI が回答を生成する RAG の精度やユーザビリティを磨いてきました。

☑exaBase を AI エージェントに完全対応

当社は、こうした日本企業からの要望の実現をさらに加速するため、exaBase のサービスやテクノロジーを AI エージェントに全面的に対応させていくこととしました。これにより、現場の判断力や対応力を維持・強化しつつ、中間層のマネジメントタスクの効率化を促進します。

まず、2025 年 5 月より、exaBase Studio のアプリケーションを構築するひな型であるテンプレートを利用して自律型を含めた AI エージェント対応のサービスを内製できるようにします。

また、2025 年夏以降に、幅広く普及している当社グループの exaBase 生成 AI をユーザーインターフェースとして、exaBase Studio で開発したアプリケーションなどのアセットも含めて企業内で運用している AI エージェント、当社グループで提供している AI プロダクトの AI エージェント機能を利用できるようにしていきます。

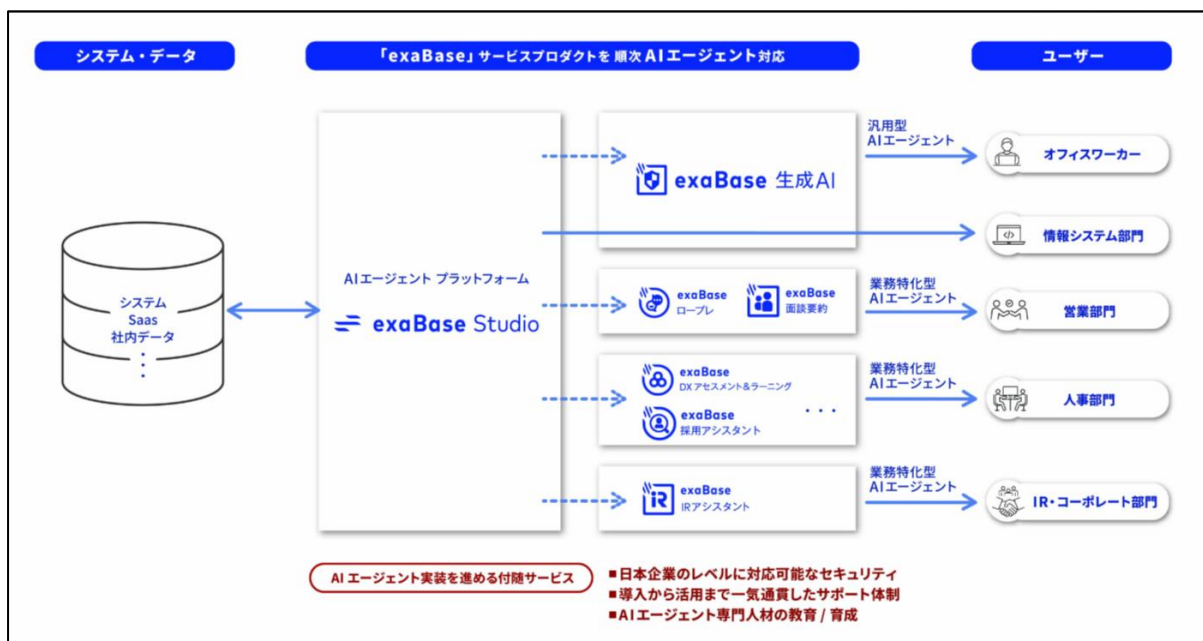


図 1 : エクサウィザーズグループは exaBase Studio を AI エージェントプラットフォームとし、各サービス・プロダクトを順次 AI エージェント対応

☑exaBase Studio の AI エージェント対応

exaBase Studio ではこれまで、企業内データを生成 AI から精度高く参照できる「RAGOps」など、業務ですぐに使い始めることができるアプリケーションのテンプレートを提供してきました。

これに対して今回 2025 年 5 月より、自律型を含めた AI エージェントを自社ですぐに構築・運用できる「AI エージェントテンプレート」、企業内にあるデータの状況を把握し管理する「データエージェント」を提供します。データ権限の管理機能も大幅に強化し、企業において安心して AI エージェントをご利用できるようにします。



図 2 : AI エージェントがデータ分析をするにあり、ユーザーに数値の定義を確認しているところ

exaBase Studio の AI エージェントは以下の主要な機能で構成します。

(1) AI エージェントテンプレート ～ 社内データを活用しながらサービスを構築、ユーザーと対話し業務で利用しながら「育てる」 ～

このテンプレートを exaBase Studio 上で利用することで、社内データを活用しながらサービスを構築し、ユーザーと対話しながら、顧客の業務を AI エージェントのタスクに落とし込んでいくことができます。主としてオーケストレーターと呼ぶ管理側の AI エージェントがユーザーと対話し、ワーカーとなる他の複数の AI エージェントと連携することでタスクを実行していきます。

具体的には、ユーザーの所属する企業の業種や部署、ミッションに関する情報をチャット形式で収集しながら、AI エージェントに任せたい業務の範囲をユーザーと「相談」の上で定義していきます。ユーザーが「予算ギャップがでている原因を探ってください」のように概要だけで依頼した業務であっても、オーケストレーターの AI エージェントがタスクに分解し、必要な他の AI エージェントを推薦したうえで実行プランを作成してくれます。

また、ユーザーがオーケストレーターを通じて指示やフィードバックを与えることで、AI エージェントを育てていくことが可能です。

各ワーカー AI エージェント自体にも自己検証の機能を備えており、利用するほど精度が上がっていきます。ワーカーの AI エージェントはタスクを実行するうえで必要な言葉や処理の定義を把握・記憶し、扱う文章やデータを正しく理解できるようになります。結果として、AI エージェントが自律的に処理できるタスクの幅が広がり、精度も向上していきます。

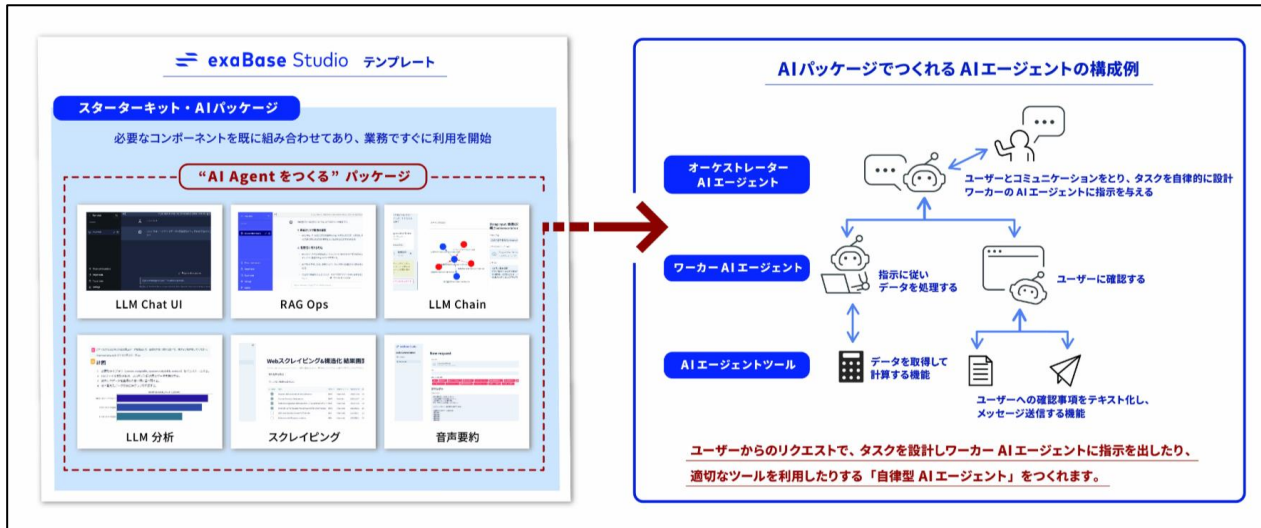


図 3 : exaBase Studio の AI エージェントテンプレートを活用し、オーケストレーターワーカーの AI エージェントを連携させている例。ワーカー AI エージェントが適切なツールを利用して処理を遂行する

(2) データエージェント ～ データに精通したユーザーによる加工を、AI エージェントが対話型で伴走 ～
exaBase Studio の AI エージェントテンプレートにおいては、各企業ごとに異なるデータの利活用を重視しています。

AI エージェントが適切に稼働するには、AI が適切に処理できるようにデータを加工・整形をすることが欠かせません。そこで各業務データの定義について、データエージェントが現場側と対話することで、加工できる仕組みを提供します。

当初、CRM（顧客関係管理）サービスのセールスフォースに対応し、その後 SAP など各種の企業向けサービスに対応していく予定です。

(3) データの権限管理機能 ～自社データへのアクセス権限をプラットフォーム側で包括的に管理～

外部 SaaS やストレージのデータに AI エージェントが直接アクセスするのではなく、exaBase Studio の専用ストレージを活用してデータを処理します。

AI エージェントに割り当てられたロールや操作対象リソースの種類に応じて、実行可能なアクションをプラットフォーム側で細かく制御し、必要に応じて 人による実行の確認を行い、意図しないデータの上書きや破損を未然に防ぎます。

☑exaBase Studio のライセンス料金について

今回の AI エージェントへの対応にあわせて、exaBase Studio の新たなライセンスを設定しました。

SaaS 版として、同時起動アプリケーション数を無制限に使えるライセンスを 250 万円/月～で提供します。より導入しやすいメニューもご用意しております。最低契約期間は原則として 1 年になります。

☑exaBase Studio の対応スケジュール

AI エージェントテンプレート、データエージェント、データの権限管理機能について、2025 年 5 月より基本機能の提供を開始します。

2025 年夏には exaBase Studio 上で、ノーコードでも AI エージェントを構築できるユーザーインターフェースや機能を実装し、より幅広い企業内のユーザーに活用いただけるようにします。

その後、RAGOps テンプレートとの連携による社内業務データ活用の加速、音声インターフェースやスマートフォンへの対応を実施する予定です。

なお、exaBase Studio をご利用中の企業の皆様と、AI エージェントや RAG などを活用し新たな価値創造を目指したいと考えています。



より、そう、ちから。

東北電力

東北電力株式会社

東北電力の社内業務 DX 化に向けて、exaBase Studio を提供し活用いただいております。また、東北電力とエクサウィザーズは業務提携に基づいて東北・新潟における生成 AI サービスの普及に取り組んでおり、今回の AI エージェントの活用が、お客様のさらなる効果創出につながると考えています。



西武鉄道

西武鉄道株式会社

exaBase Studio を導入し、社内問い合わせへの対応サービスにおいて運用いただいております。RAG（社内データ連携）のテンプレートを活用することで、特に高いデータ精度の向上に取り組んでおられます。

なお、本件が 2026 年 3 月期業績に与える影響は軽微であります。

* 1 当社では AI エージェントを以下の通りの 2 種類を開発・提供しています。

・ワークフロー型：人間があらかじめ決めたルールや目標に従ってタスクを実行する AI エージェント

・自律型：特定の目標を達成するために、人間からの指示なしに自律的に行動しタスクを実行、さらに人と対話して情報を得て学習・成長していく AI エージェント

* 2 exaBase 生成 AI は国内市場シェア 1 位を獲得し、2024 年 12 月末時点で 7 万以上のユーザーに利用いただいております。

出典：デロイト トーマツ ミック経済研究所「[法人向け生成 AI 導入ソリューションサービス市場動向 2024 年度版](#)」、2024 年 8 月 13 日付プレスリリース：[「exaBase 生成 AI」が「法人向け生成 AI 導入ソリューションサービス市場動向 2024 年度版」において市場シェア 1 位を獲得](#)

【エクサウィザーズ 会社概要】

会社名：株式会社エクサウィザーズ（証券コード 4259）

所在地：東京都港区芝浦 4 丁目 2-8 住友不動産三田ファーストビル 5 階

設立：2016 年 2 月

代表者：代表取締役社長 CEO 春田 真

事業内容：AI を利活用したサービス開発による産業革新と社会課題の解決

URL：<https://exawizards.com/>

<広報に関するお問い合わせ先>

株式会社エクサウィザーズ 広報 メール：publicrelations@exwzd.com